



「へ行」の天草方言 「天草方言集 鶴田 功著」

- へいこうすっぞ【閉口】 困ったことになる
 へいちやら へーちやら へっちやら 平気 た易い
 へー【屁】 fart おなら 肛門から出るガス
 へー【灰】 ash 燃え粕 焼却残留物 [は] の転音
 へー【蠅】 fly 昆虫 ②鶺合の衆 [は] の転音
 へー べー ペー【杯】 「1杯 2杯 3杯」
 へー なるほど そうなのですか
 へー… 接頭語 「へー起きさね」起きてすぐ
 べー 大便 feces 糞 dung
 …べー …だぞ …だよ …ですよ 「良かべー」
 ペー【食え】(幼児語) 食べろ 「飯ペー」飯を食べろ《高浜》
 …ペー …だよ …ですよ 「するっペー」《佐伊津》
 へーおきさねー 起きてすぐに
 へーかまする 放屁する ②相手を騙す
 へーこく【屁放く】 へーひる【屁放る】 へーふる へーへる 放屁する
 へーこら 頭が挙がらない 従属《京》
 へーすきゃーた【屁透かす】 へーすけーた へーへった 音がしないように放屁した
 へーじ へじ【返事】 返答 「へーじんなか」
 ペーじゃった 駄目だった
 へーた【履いた】 履物やズボンを着用した [は] の転音
 へーた【吐いた】 嘔吐した [は] の転音《佐伊津 五和》
 へーた【干した】 日光や熱を当てた 乾かした
 へーだ【剥いだ】 表面を削り取った
 へーたごっしとる 干したようだ 沢山広げてある
 べーたんご 肥担桶 下肥を入れて担う桶
 へーつかす へーつきゃとる へーつけーとる 馬鹿にしている 侮^{あなど}っている
 へーったろもん へーつつろもん 入ったでしょう
 へーってみろ 中に入ってみなさい《佐伊津 五和》
 へーとる 入っている《佐伊津 五和》
 へーてえーた へーてゑーた 干しておいた
 へーとく 干しておく 水分を抜く
 へーノごたる へノごたる 軽い light 簡単だ simple
 へーノひっとでた 思わず屁が出た
へーノへーとる 蠅が入っている《佐伊津 五和》
 へーひる【屁放る】 へーふる【放る】 へーへる【放る】 放屁^{ほうひ}する
 べーら 粗朶 炊き木 木の枝 柴《佐伊津 五和》
 へーらけーた へーらせた 入らせた《佐伊津 五和》

へーらせる 入らせる 入れてやる《佐伊津 五和》
へーらすんな 入れるな《佐伊津 五和》
へーらせろ 入らせなさい《佐伊津 五和》
へーらせん 入れない 入れてやらない《佐伊津 五和》
へーられん 入られない《佐伊津 五和》
へーらん 入らない 加入しない《佐伊津 五和》
へーりくーだ へーりこーだ 入り込んだ《佐伊津 五和》
へーりげいく 入りに行く《佐伊津 五和》
へーりこむ 入り込む《佐伊津 五和》
へーる【入る】enter 中に入る ②加入する 入場
へーれ へーれな 入りなさいよ《佐伊津 五和》
べーろ べろ《京》 舌 tongue ②反意 「べーろさした」
へーろーだ 入ろう ②参加しよう 加入しよう
へーんな【入るな】《佐伊津 五和》
へーんなっせ お入りください《佐伊津 五和》
へがす へがめる【減らす】 数量を少なくする
へがる 古語【剥がる】 減る 少なくなる ②集団から出る
へき【肩癖】 首から背中 back 体の後側 肩 「へきン痛か」
へぎ 古語【折】 竹籤 竹を薄く削り取った籤《日ポ・京》
へぎへぐ 竹を薄く削って竹籤を作る
へぎゃーて へげーて へりゃーて 減らして 減量して
へぐ 古語【削ぐ】 表皮を薄く削る《日ポ・京》
へぐらし 古語【日暮らし】 夕暮れまでの残業 ②終日
へぐろ【竈黒 灰黒】 竈の煤 鍋墨 釜や鍋底の煤 鍋の黒い煤
ぺけ【×】 間違い mistake ②失敗
へげとる【剥げる】 剥離している
へこ【兵児】 へこんたん 褌 ②腰巻き《日ポ》
へご〈裏白〉 へゴ科の木性シダ
へこたるる へたる【兵児垂れる】 へたばる 挫折する
へごちゃご あれこれ理屈を言う つべこべ 「へごちゃごぬかすな」
へこへこ〔擬態音〕 頭を何度も下げる 従属する
ぺこぺこ〔擬態音〕 頭を何度も下げる 従属 ②腹が減る
へこぼる【凹む】 sink 窪む
べざいてんさん べだいてん【弁財天】 七福神の一
へしおる【押し折る】 曲げて折る 一気に折る《日ポ・京》
へしかくる【押し掛く】 煽動する agitate おだてて 唆す
へしくずす へちくずす【押し崩す】 圧力で潰す 打ち壊す
ぺしゃんこ ぺっしゃんこ〔擬態音〕 押し潰れる
へす へらかす【減らす】 減量する 少なくする
へずる 削り取る 切り取る ②量を少しずつ減らす《京》

へずれ へせ へらかせ【減らせ】 減量しろ
べそかく 泣き顔になる
へた 古語【辺 端】 辺田 岸边 bank
へた【蒂】stem 柿や茄子のなり口にある額《京》
へた へたくそ《京》 へたくわちよ【下手】 不器量
べた 全面的に ②すっかり 「べたなぎ」波一つ無い風ぎ
べたつく べとつく 粘りつく ②纏わりつく
へたばる へたる へばる 脱落する 伸びる 疲れる《京》
べたべた〔擬態音〕 粘り着く 粘っこい ②纏い付く ぞっこん
べたぼめ やたらと誉める
べちーする べちべちーする【別々】 別にする 区別する
ぺちやくちやしやべる 止め処なくよく喋る
ぺちゃんこ ペっちゃんこ〔擬態音〕 押し潰れる
へったくれ 取るに足らない 「糞もへったくれもあるか」
べったり《京》 べっちゃり ぴったり 隙間なく
へっちゃら 平気 cool ②簡単 simple 《京》
べっとりくっつく 粘り気のある物が染み込む
へっぴりごし〈屁放腰〉 および腰
べっぴん べっぴんさん【別嬪】 美人 beauty 《京》
へつらう【諂ふ】 阿る ご機嫌を取る 追従する
へつる 削り取る 切り取る 量を少しずつ減らす《京》
へつろうて ご機嫌取って 阿って
へど【反吐】 嘔吐 食べたものを戻す《京》
へとへと〔擬態音〕 酷く疲れる 疲労困憊
べとべと べとつく〔擬態音〕 油などがべっとりと付着する
へなへな へにゃへにゃ〔擬態音〕 体が柔らかく撓る 体をくねらす
べにさしゆび〈紅刺し指〉 薬指 ring finger 《京》
へノごたる〈屁の如し〉 何とも無い 容易い たやすい
へノかっぱ《京》 へノこっぱ 簡単だ 平ちゃらだ
へノげ〈丙の下〉 最低 最悪 worst
へノつっぱりにもならん 何の役にも立たない 力にならない
へばっつく へばりつく ぴったりとくっつく
へばる 疲れる《京》 脱落する ②ぴったり付く
へびる 恐がる 怖じ気づく びびる《竜ヶ岳》
べべ べんべん 着物 (幼児語)《京》
べべ べべんこ 子牛 calf 《京》
へべれけ 泥酔状態 深酔い 「へべれけに酔うた」
へぼ 下手なこと 「へぼ将棋」
へま 失敗 不手際 失策 error どじ ぽか《京》
へゆたれ 弱虫《有明》

へら【箆】spatura 糊などを塗る道具 竹箆《日ポ》
 へらうつ〈箆打つ〉 詭弁^{きべん}使い 言い逃^{たべん}れする
 へらずぐち【減らず口】 憎まれ口 駄弁《京》
べらっと べらり 全部 all みんな 総て ことごとく
 へらへら 意味無く笑う ②軽薄
 ぺらぺら ぺらんぺらん 薄っぺら 薄い
 べらべら〔擬態音〕 よくしゃべる 余計なおしゃべりをする
 べらり 全面的に 全部 all みんな 総て ことごとく
 へり【縁】edge 物の端 畳やカーテンの端
 へりきる【縁切る】 仕切る 区切る
 へりくだる【遜る】 謙遜する 自らを卑下する
 へりくつ【屁理屈】 詭弁 筋の通らない言い訳
へりくりかえる へりくりかやる 反り返る
 へりゃーて へれーて 減らして 減じて 少なくして
 へる 古語【放^ひる】 放る 排泄する 体外放出
 べろべろ〔擬態音〕 舌で舐める ②酔って呂律が回らない
 へんか へんなか へんにゃー【変だ】 不思議だ wonder
 ベンガラ 《オランダ語》 bengala 紅殻 朱色粉末塗料 ベンガル産
 へんぐる〈変線る〉 変更する 変える
 へんこつ【偏屈】 eccentric 変わり者《京》
 へんごまんご くねくね 曲がりくねって 折れ曲がる
 べんざし【弁指】 漁労長 網漁業の総指揮者
 へんじょこんじょぬかすな【遍照金剛】 ②くどく言うな
 べんた べんたさん 京人形
 へんちくりん へんてこりん【変梃】 accident 不思議 wonder 《京》
 べんちやら ご機嫌取り ②おしゃべり《京》
 へんど《京》 へんどか 古語【辺土】 不便だ 便が悪い
 へんどさん【遍路さん】 巡礼者
 へんなか へんにゃー【変だ】 不思議だ ②まともでない
 べんノたつ 能弁^{のうべん} 雄弁 弁舌が巧み よくしゃべる
 べんノわるか 便利が悪い 便が無い
 へんぱく【弁駁^{べんぱく}】 反論 抗弁 口返答 口答え
 へんぴか【辺鄙^{へんひ}】 辺地 不便な所だ
 へんぴゅう へんぶ へんぼ【蜻蛉^{トシボ}】 dragonfly 《栖本》
 べんべん 服 (幼児語)《京》